

第4回奈良県総合教育会議 ー議事録概要ー

日時： 平成28年3月30日（水）

場所： 奈良県文化会館

○ 議題： 奈良県教育振興大綱（案）について

これまで開催してきた、第1～3回奈良県総合教育会議での議論を踏まえ作成した、奈良県教育振興大綱（案）を承認した。

○ 主な意見

- ・ 大綱は、教育の現状を分析し、有識者の意見等も聞き、県の教育課題や未来への教育環境整備等について網羅できている。
- ・ 大綱に基づき、今後、県教育委員会が中心となって具体的に進めていくことが大切である。「奈良県いじめ防止基本方針」や教育に関わる様々な施策、次年度策定予定の県文化振興大綱などとも連動させながら、実践していく必要がある。
- ・ 素晴らしい大綱であり、今後は現場の先生方に大綱の中身を理解し、実践していただけるように推進していく必要がある。公立学校だけでなく私立学校についてもこの大綱を生かした教育を推進していきたい。
- ・ 奈良県には海がないが森林がある。森林を学び、森林を語れる人材を育てる教育も大切である。

○ 総括

- ・ 実践のための大綱であり、フォローが必要である。今後、この総合教育会議の場でKPIも含めて進捗状況等について議論していきたい。まずは、就学前教育、実学教育、郷土教育を重視する方向で進めていきたい。
- ・ 教育現場の方々と意見交換していくことが大切であり、この大綱を教員一人一人に周知するとともに、市町村教委や市町村教育長、学校長や先生方からアンケートをとり、その結果を基にこの場で議論を深めていくことも大切である。大綱でカバーしきれていない所は実践で深掘りし、現場の新しいアイデアや大綱の改善点などが今後提案されてもよいのではないか。
- ・ 就学前教育に関して、県独自の就学前教育メソッドが確立できないか、検討してほしい。